

# ふくしま歴史資料保存ネットワーク

2011年の東日本大震災・福島第一原発事故、2019年の東日本台風、2021・2022年福島県沖地震、2013年台風13号（いわき市）と、頻発する大規模災害により、歴史資料が散逸・消滅の危機にさらされています。今年もふくしま史料ネットは県内各地で歴史資料保全活動に取り組み、保全した資料の整理に取り組んでいます。

## そうまネットと連携した活動を続けています

2023年3月、相馬市内の旧家で解体予定の蔵から資料を救出する活動を支援しました。

その後の記録整理作業の支援と並行して、一部の史料を借用し、2024年1月、福島大学学生による調査成果の報告会が行われました。

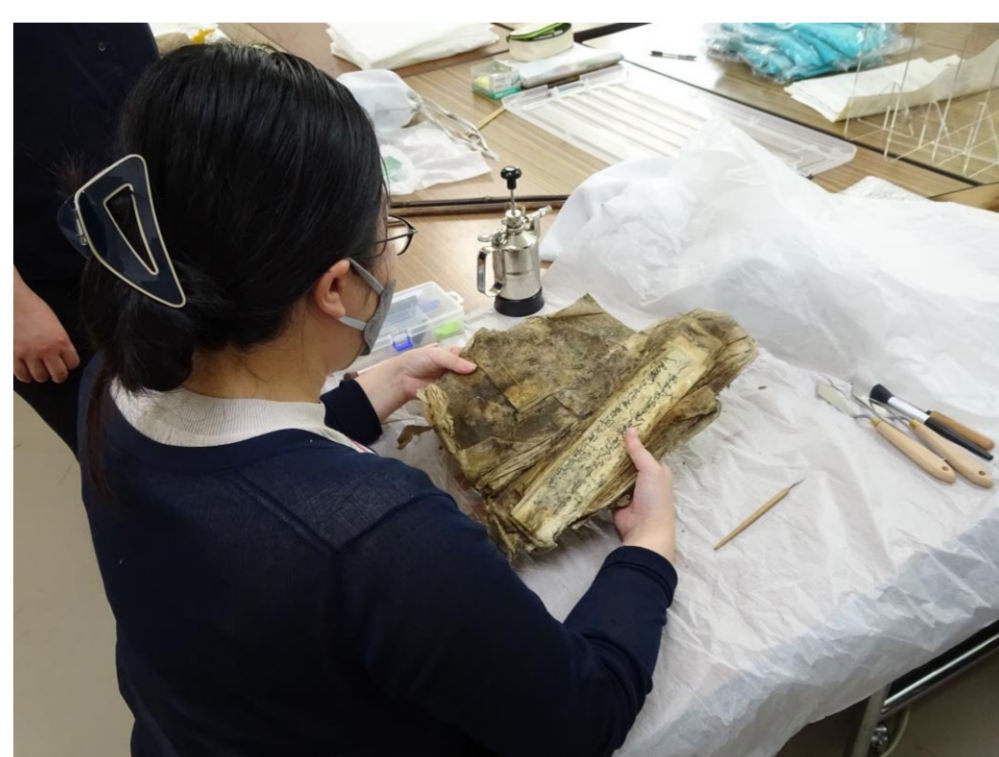


## 2023年も夏季集中作業を行いました



2014年以来続けている夏季集中作業も、学外からのボランティア参加を呼びかけ、在学生・卒業生も交えて本格的に再開しました。

学外からの講師の指導のもとで、富岡町からお預かりしている資料の記録整理や、相馬鈴木家の下張り文書はがしなどに取り組みました。



## 台風13号で被災したいわき市の状況

2023年9月の台風で河川氾濫の起きたいわき市内郷地区で聞き取り調査に取り組みましたが、時間が空いてしまったこともあり、対応の難しさを痛感しました。現地での聞き取り調査の過程で、いわき炭鉱関連の資料を保全しました。

